

山から降りて来た人 (7月)

成長・貢献・感謝

山から降りて来た人

原田 直友

山から降りて来た人は
みんな胸を大きく張って
ゆったりとしている
どの顔も明るくかがやいて見える
なぜだろう

ぼくは今麓山に登ってそれがわかった
頂上から眺めると
となりの村が見える

その向こうの町が見える 町の向こうに
はてしない海が光って見える
そしてぼくの村のなんと小さなこと

あの手のひらのようなところで
ぼくらはつまらないことに
おこったりすねたり

喜んだり悲しんだりしていたのだ
それがなんだかばかけたことのように
思えてくるのだ
そして希望で胸がぐんとふくらんでくるのだ
太い鉄でも飲みこんだように
どつかり腹もすわってくるのだ

山から降りて来た人は
(ぼくもきつとそうにちがいない)
ちよつとのことにはゆるがない
明るい顔でいつもここに笑っている



羽地中学校
学校だより 60 号
R1. 7. 2

上の詩から富士山登山
を思い出した。
子どもの13のお祝いに

シチマンタル会長にのる

同じ保育園の保護者や子ども達と一緒に
富士山に登ったことがある。
1年前から積み立てをして資金を貯め
7月の山開きを待って沖繩から20数
名でアタックした。

山登りはみんな初心者なので、山の頂
上からみる風景やこ来光、雲海など、
初めて見る景色にみんな期待した。
5日目から登山開始。意気揚々と臨
んだ山登りだったが、2時間くらいで
後悔に変わった。山の天気は雨、カッ
パを着けていても次第に中にしみこん
でくる。赤茶けた岩石だらけの風景が
永遠と続く山登りだった。

8号目の小屋にやっと着いた。ず
ぶ濡れだったが、着替えもなく夜を過
ごす。朝5時頃にご来光を拝み、頂上
にアタック。高山病などで頂上を断念
する人達が続出。頂上に行けたのは、
私の親子と、もう一組の親子だけだっ
た。火口付近や雲海は素晴らしいが、
頂上は多くの登山者でこった返し
ていた。下山は同じ風景だけなので、
次第に早走り下山し、麓のホテルへ
到着。家族や皆と再会。

山の環境は過酷である。空気も薄い
し、食料も値段が高く、ますしい。下界
の方が住みやすいのだ。厳しい環境か
ら抜け出てきたから、ほっとして、に
こにこしている私は勝手に思う。
山から降りて来た人も私も、下界で
喜んだり、悲しんだり、泣いたり、笑
ったりしたい。山に登らないと下界の
素晴らしさは、分からない。また、登
ってみたい。あんなに難儀したのに。

7月の行事予定

- 1日(月) 水曜日課、安全点検日
- 2日(火) 名護市教育委員会学校訪問
- 3日(水) 期末テスト(理・美・国)
- 4日(木) 期末テスト(音・数・技家)
- 5日(金) 期末テスト(英・社・体)
- 6日(土) 水泳県大会、地区吹奏楽コンクール
- 7日(日) 水泳県大会
- 9日(火) 三年高校説明会
- 10日(水) 水曜日課、専門委員会、
全校体育一運動会リレー種目(5.6校時)
- 12日(金) 授業参観日、弁当の日、校内研修会
- 15日(月) 海の日(公休日)
- 17日(水) 水曜日課
- 19日(金) 一学期終業式
- 20日(土) 夏季休業日
- 22日(月) 中体連県大会~24日まで
- 24日(水) 三者面談 ~29日まで



8月20日(火) 全校出校日



第24回シチマンタル会定期
総会が羽地支所で29日
(土)開催され、新会長にO
氏、元PTA会長が就任いた
しました。
シチマンタル会は羽地中の
応援団体で、スポーツや文化
面の活躍を横断幕で作成・提
供したり、図書購入費用の寄
贈など、羽地中に多くの支援
を行っていただきます。会員は、羽
地中出身だったり、元PTA
保護者だった方が多く、地
域に戻っても羽地中を支援し
てくださっています。その姿
勢に感謝しています。